



**（株）常陽銀行から  
新入学児童に防犯ブザー寄贈**

（株）常陽銀行から、市内11校の小学校新入学児童339人に防犯ブザーの寄贈がありました。

これは、同銀行の地域貢献活動の一環として、平成17年の70周年を記念に始められたもので、今年で8度目となります。

「様々な防犯対策が叫ばれる中、『安心して生活できる地域社会づくりに貢献したい』という役員らの願いと、『新入学児童たちが犯罪に巻き込まれないように安全に暮らせるように』という思いから寄贈させていただきました。」と、同銀行 系長 真壁支店長は話していました。



**筑西市の『寅さん』、真壁のひなまつりで一肌脱いで寄付**

筑西市の「寅さん」こと植木定男さんから、東日本大震災で被災した真壁の町並み（重要伝統的建造物群保存地区）の復旧・復興のために市に寄付がありました。

これは、今年の「真壁のひなまつり」最終日、観光客で賑わう街角で、植木さんが、独特の金釘流元氣字の書体を操り、希望者の名前にちなんだ人生応援詩を色紙に作成。その際、真壁の町並みの復興を目的に募った義援金を寄付されたものです。

同氏は、「また、素晴らしい町並みと立派な建造物の中に、早くお雛様が飾られるようにしてください。」と話していました。

**川田興聖さん（雨引山楽法寺住職）  
から市の教育振興へ寄付**

雨引山楽法寺住職の川田興聖さんから、市の教育振興に役立ててくださると、100万円の寄付がありました。

これは、川田住職が東日本大震災で被災した東北地方の経済復興につながればと、宮城県などの被災地から特産物などを多数買入れ、それを同寺の売店で販売。その売上金の全額を寄付していただいたものです。

川田住職は「桜川市の子どもたちが、健やかで思いやりの心を持った人間に育てるために役立てていただければありがたいです。」と、話していました。



**「サンホーム真壁」で  
緑色の桜「御衣黄」が開花**

特別養護老人ホーム「サンホーム真壁」（真壁町谷貝地区）で、緑色の花を付ける桜「御衣黄」や淡黄色の花を付ける「ウコンザクラ」など珍しい花が、入所者の目を楽かせていました。

「御衣黄」は、八重桜の一種で、中国から伝わりソメイヨシノより2週間ほど遅く開花するそうです。

同ホームでは、入所者にお花見を楽しんでもらおうと、3年ほど前に10種類の桜の植樹を行いました。「今後は、地域の方にも庭を開放し、多くの方に花見を楽しんでもらいたい。」と、話していました。



「サンホーム真壁」の庭には、さまざまな種類の桜が植えられ、その中に黄緑色の花びらを付けた「御衣黄」の桜が開花しました。

**南飯田小の澤翼さんが、読書  
感想画中央コンクールで、奨励賞**

第23回読書感想画中央コンクールで、南飯田小学校1年（受賞当時）の澤翼さんの描いた作品『とんできてみたよ』が、茨城県小学校低学年の部で、最優秀賞。また、全国の部では、奨励賞を受賞しました。

このコンクールは、（社）全国学校図書館協議会などの主催で行われ、37都道府県から約70万点の応募がありました。

受賞した澤さんの作品は、童話作家荒井良二さんの『ぼくはぼくのえをかきよ』を読んだ澤さんが、「ぼくもぼくのえをかこう」と、ペンがロケットになって、宇宙に向かって出発した絵を描いたものです。



**「舞姫」が、準グランプリ  
YOSAKOIかぬまフェスティバル**

栃木県鹿沼市で開催された、YOSAKOIかぬまフェスティバル2012に、桜川市のYOSAKOIチーム「舞姫」が参加。ジュニアチームYOSAKOIコンテストで、準グランプリを受賞しました。

「舞姫」は、市内のイベントや県内外のYOSAKOIイベント、福祉施設などへの慰問活動を積極的に行っています。

今回の受賞で、参加メンバーは、「一生懸命練習しみんなと楽しく踊れ、準グランプリが獲れて、すごく嬉しい。次は、グランプリを目指したい」と話していました。



ジュニアチームYOSAKOIコンテストで、準グランプリを受賞した「舞姫」の皆さん



**夜桜の中、飯島晶子さんが  
「桜子ものがたり」を朗読**

櫻川磯部稲村神社で、facebookから始まった桜川市を元気にする市民団体「桜川ファン倶楽部」主催による「伝説の夜桜と音楽&朗読の夕べ」が開催されました。

ライトアップされた境内の夜桜と音楽を背景に、桜川市出身の朗読家 飯島晶子さんが、「桜子ものがたり」を朗読しました。

「桜子ものがたり」は、謡曲「桜川」の「桜児物語」を、小学生にもわかりやすいよう「物語調」に仕上げたもので、当日来場した約60人の方の中からは、「親子で楽しめて、子どもが勉強にもなりました。」という声がかげられました。



**YouTubeで  
「報徳思想」を世界に発信**

天賀谷正さん（水戸地区）が、自ら代表を務める桜川市の市民劇団「劇団どてかぼちゃ」で公演してきた「報徳」「報徳」百万石だっぺの中国語版を製作しました。

これは天賀谷さんが、現在、中国で二宮尊徳翁の「報徳思想」が関心を持たれていることを新聞で知り、その普及に役立つことができると、同氏宅の近くで働く中国人研修生の皆さん約20人の協力により、中国語の吹き替えを行い完成させたものです。

近日、インターネットの動画サイト「YouTube（ユーチューブ）」を通して世界に配信されます。是非、ご覧ください。